



かえでのもり

学校目標:自分で考え 行動できる子どもの育成

合志市立合志楓の森小学校
学校だより 第8号
令和3年(2021年)6月18日
文責 校長 角田 賢治



ホームページ

ローテーション授業(道徳)

道徳の授業は、各学年、週に1回行っています。普段は、学級担任が授業を行います。同学年の中で担任が別のクラスで授業をするローテーション授業に段階的に取り組んでいます。ローテーション授業では、各担任が一つの教材で学年の全クラスの授業を行っていきます。

4年生では、先行して6月から取り組んでいます。教材は、1組担任の福田先生が「目覚まし時計」、2組担任の中村先生が「すいかの半切れ」、3組担任の西方先生が「生きているしるし」、4組担任の岩田先生が「学級会での出来事」です。

16日(水)は2回目のローテーション授業。西方先生が1組、



3組担任が1組で授業

岩田先生が2組、福田先生が3組、中村先生が4組での授業でした。子どもたちも担任の先生以外の授業で、いつもと違った雰囲気の中で考えを深めているようでした。

授業後は、先生方で、授業をした子どもたちの様子を共有する中で、担任が気づかなかった新たな一面の発見もあり、授業やクラスづくりにいかすことができます。小学校では担任以外の先生と接する機会が多くないため、子どもたちにとっても同じ学年の先生を知る機会にもなっているようです。



1組担任が3組で授業



2組担任が4組で授業



4組担任が2組で授業

プール開き

今週から各学年・クラスでプール開きを行っています。学校にとっても「初プール」での「泳ぎはじめ」です。暑い日が続いているため、楽しい時間の一つとなっています。



中学生が読み聞かせ

17日(木)の朝の時間、図書委員会の中学生が小学校1・2年生に読み聞かせに来てくれました。

中学校の図書委員会による初めての試みで、事前に低学年が喜ぶ絵本の選定から行い、当日は、中学1年生が小学1年生に、中学2年生が小学2年生に読み聞かせをしてくれました。

初めての事でちょっと緊張気味の中学生に対し、1・2年生は食いつくように絵本の世界に入り込んでいました。最後は、手を振り合う光景が見られました。次回も楽しみです。

